

各位

会社名 株式会社フェニックスバイオ
 代表者名 代表取締役 島田 卓
 (コード番号：6190 東証グロース)
 問合せ先 専務取締役管理部長 田村 康弘
 (TEL 082-431-0016)

営業外費用（為替差損）の計上及び
2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第3四半期連結累計期間において、営業外費用（為替差損）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2022年5月13日に公表しました2023年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上

2023年3月期第2四半期連結累計期間において、為替差益36,683千円を計上していましたが、外国為替相場の変動に伴い、2023年3月期第3四半期連結会計期間において、為替差損55,994千円を計上いたしました。

この結果、2023年3月期第3四半期連結累計期間において為替差損19,311千円を計上いたしました。これは主として、当社保有の外貨建債権債務の決済及び2022年12月末時点の為替レートで評価替えを行ったことにより発生したものであり、今後の為替相場の状況により変動いたします。

2. 2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正
(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,751	206	211	198	60.08
今回修正予想(B)	2,021	332	325	281	83.52
増減額(B-A)	269	126	113	83	—
増減率(%)	15.4	61.2	53.8	41.8	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	1,324	△167	△127	△387	△117.50

3. 修正の理由

通期連結業績予想につきまして、海外の製薬企業による抗B型肝炎薬（薬効薬理分野）の開発が活発な状況にあるなかで前期より複数の大型案件を獲得していましたが、当初計画より順調に受託試験が進んでいること、為替レートが想定より円安に推移していることから、売上高について上記のとおり修正いたします。また、売上高の増加に伴い、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても当初計画を上回る見込みであることから、それぞれ修正いたします。

為替レートにつきましては、1米ドル130円を想定しております。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、現時点では軽微であると判断してお

りますが、今後重大な影響が生じると見込まれると判断した場合は速やかに開示いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上